

ルワンダ共和国看護教員等の大学校訪問



2018年3月6日、東アフリカのルワンダ共和国の看護教員等が本学の見学と学生や教員との交流を目的に来校されました。

ルワンダ共和国はアフリカの中でも胃がんが多い国で、国立がん研究センターが定期的な調査を行っています。

今回、国立がん研究センターで医師として従事したのちルワンダで医務官を務めた長井先生が、来日の機会にルワンダのがん研究チームのメンバーとともに本学を訪れてくださいました。



Republic of Rwanda



講演

在レバノン日本大使館
参事官兼医務官 長井俊治先生

看護教員 Cecile 氏
「ルワンダにおける看護教育」



ルワンダのがん治療の状況やルワンダにおける看護教育の現状を知ることができました。

看護学部生、研究課程部生そして教員を交え、活発なディスカッションができました。

学内見学



成人看護学実習室 ICU モデル



満開の梅の木の下で

交流会

